

先ほど紹介された87名の新入生の皆様を、新しく本学の一員として迎えることになりました。新入生の皆様には、京都医療科学大学の全教職員を代表して、改めて歓迎の言葉を申し上げます。新入生以上に、ご両親、ご家族の方々には心よりお慶び申し上げます。

皆様は、新しい大学生活への期待半分、不安半分ではないでしょうか。今日から4年間本学で勉学の後、診療放射線技師として多くは病院で働きます。現在の最先端医療には、X線撮影、X線CT、MRIなどの画像診断、がんの放射線治療が不可欠となっています。皆様の毎日の仕事を通して、世の中の人々に役立っているのです。

病院に来るのは病に苦しむ病気の人々で、毎日の仕事は人間が相手です。仕事では皆様の人間性、人柄がとても大切になってきます。大学では技術的なこと、専門的なことだけでなく、一般教養。国語、英語などの語学、文学。コミュニケーション、経済学、倫理学なども学びます。これらは放射線医療と無関係に見えるかもしれませんが、日々の仕事、人間の成長にはこれらの一般教養が欠かせません。

時代はどんどん進んでいます。皆様はこれから50年間仕事するのですが、50年後の医療が、50年後の日本が、50年後の社会がどうな

っているか、誰にも分かりません。そのためには、自分で一生懸命調べ、自分で主体的に勉強する姿勢を身につける必要があります。自主的に勉強するところが、高校と大学との違いです。「常に学び続ける」という、習慣を養いましょう。そして大学生時代に、「変化に対応できる知性」、「混沌とした時代、新しい時代に対応できる能力」を身につけてください。

本学は創設以来、90年目を迎えた日本で一番古い診療放射線技師の学校です。島津製作所の社長だった島津源蔵さんが、1927年（昭和2年）に本学を設立しました。それ以来90年という長い歴史ですので、多くの優秀な先輩が全国各地にいます。この長い伝統、多くの先輩が本学の財産です。先輩の築いてきた良い伝統を、若い皆様がさらに発展させ、より良い素晴らしい大学にしなければなりません。

本学の建学の精神は、創立以来

「品性を陶冶し、有為の技術者を養成す」です。

新入生の皆様を、人間性に優れた、優秀な技術者になるように指導することが我々教員、職員の使命と考えています。

幸いなことに創立90周年を記念して、新しい校舎が完成しましたので、出来たばかりの新しい校舎で学ぶことができます。学生食堂も現在工事中で、10月からオープンします。また90周年記念事業のひとつとして、島津製作所の寄付金によって、新しく島津奨学金が設けられ、初めての表彰式が先ほど行われました。今年から各学年で成績の優れた9人に、返済不要の奨学金40万円が授与されます。クラスで9番以内、10%以内に入ることを目指して、勉学に励んでください。皆様は本当に良いタイミングで、本学に入学されました。

4年間の大学生活では、よく学び、よく遊び、そして多くの生涯の友を作ってください。皆様は本学において、実り多い、楽しい4年間の学生生活をおくることができるでしょう。

京都医療科学大学

学長 遠藤 啓吾